

令和 4 年度 【施設名：岡崎市花園高齢者生きがいセンター】 事業報告書

公の施設名称	岡崎市花園高齢者生きがいセンター
施設の設置目的、役割	市内北部地域を中心とした高齢者に、就業機会を提供し働くことにより社会参加を促進し、以て高齢者福祉の向上と健康維持と生きがいづくりに貢献する。
施設の所在地	岡崎市 恵田町 字 東三山 108 番地 11
施設規模	敷地面積：3,359 m ² 建物面積：621 m ²
指定管理者	名称： 公益社団法人岡崎市シルバー人材センター 所在地： 岡崎市 美合町 字 五本松 68 番地 12 代表者： 会長 鈴木 保 光
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

事業実績

	受託件数 (件)	就業人員 (人)		契約金額 (円)			
		実人員	延日人員	配分金	事務費	材料費等	計
公共	1		5	68,470	6,630	3,000	78,100
民間 事業所	19		12,557	52,095,783	5,308,648	1,730,200	59,134,631
一般家庭	76		205	1,056,756	104,291	135,825	1,296,872
計	96	116	12,767	53,221,009	5,419,569	1,869,025	60,509,603

(2) 事業実施に対する自己評価

令和4年度は、年度当初より新型コロナウイルス感染症とロシアによるウクライナ侵攻の影響で、回復基調にあった契約実績が再び低迷することとなった。

特に作業場の主業務である特殊ビニール加工の仕事が、ロシア輸出用の製品割合が約3割も占めており、輸出停止の措置となった影響が大きなマイナス要因となった。

なお、今後もロシアへの輸出再開は想定していないとのことであった。

半導体等の電子部品の流通は一時的に回復しかけたものの再び停滞し、関連する受注業務も安定しなかった。

基本的に作業場受注の仕事は自動車関連であるため、半導体等電子部品しかりハイブリッドや電気自動車への転換しかり、取引先企業の方針によって大きく左右されてしまうため、今後の動向が明確にはなっていない。

このような中で、令和5年度より大幅な最低賃金の引き上げと岡崎市シルバー人材センターの事務費率2%引き上げが、取引先企業には大きな負担となっていくことは避けられない。

現在、作業場の主業務である特殊ビニール加工において新たな型番の受注に向けた準備を進めるなど各種方面において努力はしており、実績回復への糸口になることを期待している。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

会員登録状況

	令和4年度末登録会員数（人）				就業人員 （人）
	64歳以下	65～69歳	70歳以上	計	
男	1	10	55	66	69
女	1	3	41	45	47
計	2	13	96	111	116

(2) 利用状況に対する自己評価

一時的に新規入会者が増えたが、利用者（会員）の平均年齢が高くなってきており特に女性会員は平均年齢が77歳となっている。

又、20名以上が80歳を超えているため、引き続き会員の若返りが必須の課題となっている。

清掃業務に就業する女性会員は体調不良により退会される方もいるため、清掃現場を掛け持ちで就業していただいている。

試行的に一部取引先企業においてトイレ清掃を含む清掃業務を男性会員で実施させていただいたが、やはり女性社員からの苦言により女性会員に戻さざるを得なかった。

このような状況により就業率は非常に高く、全員が何らかの仕事で就業している為、新規業務の受注には積極的に取り組めない面もある。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	委託料収入	指定管理委託料	16,748,918
	利用料金収入	配分金	53,221,009
	事業収入	事務費収入等	5,419,569
	その他収入	材料費等	1,869,025
収入 計			77,258,521
支 出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、事務費、手数料、修繕費、清掃等委託料、保険料等、建築物等定期点検費	19,766,171
	(うち修繕費)	※精算項目	1,065,585
	事業費	直接事業に係る経費	53,221,009
	その他	本部経費、租税公課、当期剰余金等	4,271,341
支出 計			77,258,521
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

ロシアによるウクライナ侵攻の影響を懸念してはいたが、作業場の主業務である特殊ビニール加工の仕事は3割近くがロシア輸出用であった為、実績は大幅なマイナスとなってしまった。更に再開することは想定しないとのことで、新たな型番の製品加工に取り組む方向で進めるが、見通しは不明である。

花園企業団地に集う各社は自動車産業関係も多く、トヨタ自動車を中心に半導体不消に向けた取組やハイブリッド・電気自動車への展開と、取引先企業も戦々恐々の状況にあるようだ。

また、光熱費の高騰も運営費逼迫の大きな要因になってきている。

4 アンケート結果

(1) 実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
令和 5年 3月	82	会員配布

(2) アンケート結果概要

- ・特に要望はない。

(3) アンケート結果に対する自己評価

例年同様、アンケートのマンネリ化により年々回答率が下がってきている。回答する方がほとんど変わらないので全体的には例年の結果と大差はない。最近の傾向では会員間における人間関係が難しくなっている感もあり、勤務表の作成難度があがっている。

5 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

高齢者ばかりなので、新型コロナウイルス感染症に対する警戒は強く、体温測定、手指消毒や除菌の徹底等を図り、安心して就業できる環境維持に努めたが、同居家族との濃厚接触者で長期出勤停止もあったため、日程調整に苦勞した。

又、会員の感染情報把握に努め、施設内クラスターとならないようリアルタイムで対処に取り組んだ。

取引先企業の従業員感染情報を把握し、会員への感染防止に活用した。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

年々、会員が我儘をいう傾向にあり職員が苦勞しているが、対処できる要望には積極的に取り組んだ。

仕事は会員個々に希望するボリュームに差があるが、基本は発注者の要望に応じて行くことが信用につながる旨を理解いただき、協力いただいた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

公用車で会社敷地内において接触事故を起こした為、嚴重注意を受けた。

作業場内の製品については製品の一部に混在があった為、取引先企業と協力体制を図り、再発防止策を講じた。

出荷時の検査も丁寧に実施している為、製品不良も非常に少なくお褒めの言葉を常にいただいております、会員ともども誇りに思っている。